

オミクロン株：南アの誠実な対応と先進国のパニック反応

「オミクロン株」を忠実に報告して航空網が遮断された南アフリカ

この記事は 2021 年 11 月 29 日 Africa Japan Forum の記事の転載です。

南アとオミクロン株の関連については、非常に不正確に報道されているので、ぜひ拡散してください。

.....

「パンデミック条約」の討議にも負のインパクトを与える可能性

オミクロン株の登場でパニックに陥る各国の在り方を批判

11 月中旬に南部アフリカで判明した変異株について、世界保健機関（WHO）は 26 日、これを「懸念すべき変異株」（VOC）に分類し、「オミクロン」と命名した。

各国はデルタ株の記憶もあって一斉に南部アフリカ諸国への渡航制限を相次いで発表した。

南アフリカ共和国の国際関係・協力省（外務省）は[声明](#)を発表し、新たな変異株の登場に対する各国の姿勢を厳しく批判した。

普段から変異株に注目し、積極的に遺伝子解析を行って、WHOの「国際保健規則」に忠実に透明性をもって世界に通知した南アフリカ共和国が、各国の支援を得られるどころか、国際航空網を断絶される結果となったことは、この「パンデミック条約」に関する議論にも大きな悪影響を与える可能性がある。

南アの専門家も欧州諸国の態度に懸念

WHOの保健緊急プログラムの責任者であるマイケル・ライアン氏は、安易に渡航制限を施行しないように各国に警告した。

そして各国のパニック的な渡航制限の実施を「**条件反射的反応**」（Knee-jerk reaction）と呼び、批判した。

南ア外務省はライアン氏の発言を引用し、「今回の各国の渡航禁止措置は、先進的なゲノム配列解析を行い、新たな変異株をいち早く検出してきた南アフリ

力共和国に処罰を与えるようなものだ」と批判している。

また、今回のゲノム解析を行ったナタール大学感染症対応センターのオリベイラ教授は、「世界は南アとアフリカに支援を与えるべきで、差別したり孤立に追い込んだりしてはならない」と述べた。

その上で、「南アフリカ共和国は科学情報についてきわめて透明性を持って対応している。我々は世界を守るために、大規模な差別に痛めつけられる可能性があるにもかかわらず、こうした通知を行っている」と述べた。

WHO が所管する法的拘束力を有する条約には 2 つあり、そのうち一つが「[国際保健規則](#)」である。同規則では、公衆衛生上の懸念ある事態について、アセスメントした後すみやかに WHO に通報することを義務付けている。

今回、WHO の臨時の世界保健総会で検討されるのは、パンデミックに関して、この国際保健規則よりさらに包括的な条約を制定することである。

臨時世界保健総会では、「次のパンデミック」に関する、通知などを含めた備えの話を粛々と行うことになっている。しかし各国のパニック的対応を見た多

くの国は、「こうした国際規則上の通報義務を履行しなくなるのではないか」、とオリベイラ氏は懸念する。

南アフリカ共和国は、COVID-19 パンデミックが始まった時から、グローバルな COVID-19 対策についてリーダーシップを発揮してきている。南アは、2020 年 4 月に発足した「ACT アクセラレーター」計画の共同議長を務めている。これはワクチン、診断、治療における開発と供給を一体で手掛ける国際的な行動計画である。

また、インドとともに世界貿易機関（WTO）に知的財産権保護免除提案を提出している。これは、まだ実現はしていないものの、各地域で生産能力の拡大プログラムが徐々に広がってきている。

一方、**南部アフリカへの渡航制限を行った欧州の先進国は、ワクチンを独占し、南アを含む途上国との間に「ワクチン・アパルトヘイト」ともいうべき格差を生み出した。**もしこのギャップがなく、途上国にも公平に医薬品が供給されていれば、「オミクロン株」やデルタ株のような変異は生じなかった可能性がある。

ボツワナでも保健省が声明発表：感染は外国からのミッション

一方、オミクロン株が最初に検出された南部アフリカのボツワナの保健省も、ボツワナにおける同株の展開について[声明](#)を出している。

これによると、もともとオミクロン株が最初に検出されたのは、ボツワナ国民ではなく、外交ミッションで訪問した4名の外国人外交官であった。その後、同保健省は濃厚接触者の追跡を行ったが、同株に感染した人はいなかった。

.....

鈴木（編集者）のブログの下記の記事もご参照ください。

[南アフリカとコロナ](#)

[南アフリカの苦しみに、心添わせよう](#)

[アフリカ（とくに南ア）におけるコロナ感染](#)

[「NHKの南ア批判」を通じて考える報道における誠実さ](#)

[フリカ日本協議会から学ぶもの](#)

[コロナが残した自国第一主義と、COP26](#)